済生かなざわ

令和８年 秋号
第１５３号

石川県済生会金沢病院　〒920-0353　金沢市赤土町ニ 13-6　TEL (076) 266-1060　FAX (076) 266-1070
E-mail　saiseikh-s@saiseikaikanazawa.jp　　URL　http://www.saiseikaikanazawa.jp/

日本緩和医療学会 東海・北陸支部学術大会を開催しました



石川県済生会金沢病院　副院長
石川県がん安心生活サポートハウス　所長
龍澤泰彦

去る10月3日（土）、金沢市文化ホールにおきまして、日本緩和医療学会第8回東海・北陸支部学術大会を大会長として開催いたしました。この支部学術大会、4年に1度の北陸、そして今回初の石川県での開催となりました。

癌治療の進歩に伴い、癌の治療期間も長くなり、また癌を経験しながら社会生活を営んでおられる方が増えてきています。そのような中で、治療の時期を問わず、療養の場所を問わず、十分な支援が切れ目なく提供できることが求められています。また緩和医療に携わる医療従事者の育成・継承も喫緊の課題であります。そこで本会のテーマを「つなぐ　～　時・場を問わず、次世代へと　～」とし、テーマに沿ったシンポジウム3つとパネルディスカッション、ワークショップで、東海・北陸地区の先生方それぞれのお立場でご発表いただきました。パネルディスカッションでは日本緩和医療学会理事長の橋口さおり先生（聖マリアンナ医科大学）および副理事長の下山理史先生（愛知県がんセンター）からも貴重なコメントをいただきました。

緩和ケアの本質に迫る特別講演、今年度のトピックである腎不全の緩和ケアに関する教育講演、ランチョンセミナー3題、一般演題も口演24題・ポスター23題の二本立てと、盛りだくさんの内容でしたが、当院のフットケアチームがブースを出展し、ご参加いただいた皆様にハンドケア・フットケアの施術を行い、ちょっとほっこりとした癒しの時間も提供させていただきました。

今回、大会ポスターにはJR金沢駅前の「鼓門」と「もてなしドーム」を採用しました。このもてなしドームは、雨の降る金沢の駅に降り立った旅人にそっと傘を差しだす、そういうおもてなしの心を込めて作られ、名付けられたそうです。ホスピスの語源はラテン語の“Hospitium”で、「客を厚遇する」「暖かいもてなし」という意味があります。その玄関口でもてなし＝ホスピスの精神を表しているここ金沢の地で、参加された皆様と一緒に有意義な時間を過ごすことができたのであれば、大会長としてこのうえない喜びです。



当日は天候にも恵まれ、予想以上に多くの方にご参加いただけました。このような大会をこれまで主催したことがなく、大会当日まで不安でいっぱいでしたが、なんとか大きなトラブルなく会を終えることができたのも、大会を何とか盛り上げようと当日も運営の手伝いに来てくれた当院の職員を含む関係各位全ての方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

職場体験・インターンシップ

当院では、「次世代の医療人を育てる」をテーマに、毎年、市内の中高生の職場体験・インターンシップの受け入れを行っています。

7月7日（火）は緑中学校の生徒（6名）が職場体験に、そして7月29日（水）は泉丘高校の生徒8名、8月3日（月）は二水高校の生徒2名がインターンシップに訪れました。

中学生には個人防護服の着脱や手洗い・グリッター体験や、病棟で足浴介助や病室清掃のお手伝いをしてもらいました。午後からは放射線部、検査部、リハビリテーション部を回り、医療機器に触れながら病院のお仕事を学びました。

高校生には手洗い・グリッター体験の他、手術部で手術器具体験、金沢泉丘高校の生徒には、消化器内科　方堂先生から将来医師を目指す生徒へ講義や内視鏡操作体験、放射線部にて超音波検査装置を操作してみるなど、専門的な体験も行いました。皆さん、真剣な眼差しと真摯な姿勢で取り組んでいました。

今後も当院では、地域の若い世代に医療や看護の魅力を伝える機会を大切にしていきたいと思います。

緑中学校



個人防護服の着脱体験



足浴介助



院内見学（放射線部）

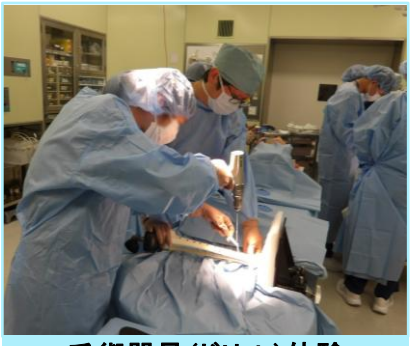
泉丘高校



講義：医師を目指すあなたへ



内視鏡操作体験



手術器具（ドリル）体験

二水高校



個人防護服の着脱体験



グリッター体験



手術器具体験

森理学療法士が令和8年熊本地震の被災地で支援活動を行いました

7月28日に発生した令和8年熊本地震の被災地支援のため、日本災害リハビリテーション支援協会の要請を受けて、当院リハビリテーション部の森理学療法士を派遣しました。

森理学療法士は8月6日（木）から10日（月）まで、熊本県庁および八代保険医療福祉調整本部にて関係機関、支援団体と連携しながら支援活動に尽力してきました。

8月6日時点では、熊本県内13市町の避難所130か所に6899人が避難しており、余震が続く不安な環境に加え、断水による影響が最も懸念される事態となっていました。道路は通っているものの段差がいたるところにあり、また橋の崩落で通行止めの箇所も存在し熊本市以南への車の移動は数時間を要するものでした。

現地では、災害リハビリテーション支援活動の本部機能として情報の集約と共有と管理、派遣チームの派遣先調整と活動支援、他職種・行政との連携調整などの役割を担い、被災者支援の円滑化を図るためのロジスティクス（後方支援）業務を担当してきました。

当時は発災からまだ1週間で、保健所を中心に各避難所の構成や健康状態の把握を進めている段階であり、今後の災害関連死につながるリスクを捉え、個別支援へ結び付けるための情報収集と分析が強く求められていました。

今回の派遣を通じて森理学療法士は、災害直後の医療救護だけでなく、生活機能を維持・再建するための「リハビリテーション支援」を組織的かつ持続的に届けることの重要性を改めて痛感したようです。また、現場で培った知見や情報管理の枠組みは、今後の災害への備えとしても非常に貴重な経験になったとのことです。そして今回の派遣にご協力・ご理解をいただいた病院関係者の皆様に、心より感謝申し上げますとのことでした。

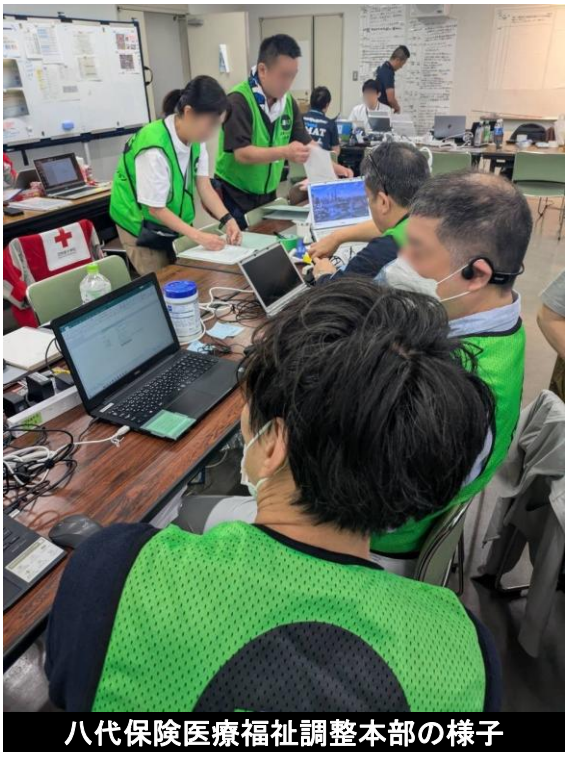
令和6年能登半島地震の際には、済生会総裁である秋篠宮皇嗣殿下のご訪問を賜りました。また、全国の済生会病院から医師や看護師、薬剤師などの応援派遣をはじめ、多くの温かいご支援をいただきました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げますとともに、当院としてできる限りの支援を行ってまいります。



壮行式の様子





八代保険医療福祉調整本部の様子

フードバンク

当院では、年2回、職員から余剰食品を募り、必要な方々に寄贈する『フードバンク』活動を行っています。

今回は7月6日～8月17日に募集し、『103点』の食品が集まりました。集まった食品は、8月21日にNPO団体フードバンク金沢・能登へ届けてまいりました。

この活動で、少しでも安心して暮らすことができる地域社会への一助になればと思います。



地域連携のつどい

9月11日、『地域連携のつどい　～人が人を支援するということ～』を開催し、約50名が参加しました。『地域連携のつどい』は、地域の関係機関の方々と事例を共有し、意見交換を行う会です。相互理解を深め、支援の本質についてともに学びながら交流を深めることを目的に毎年開催しています。

今年は「日々のかかわりを通して感じるジレンマや葛藤について」をテーマに3名が事例報告をし、当院からはリハビリテーション部の作業療法士が、自宅退院に向けた支援での介入を振り返り、その時の葛藤やジレンマ、問題解決の流れを発表しました。事例報告の後はグループワークで活発な意見交換が行われ、皆さんがどんな場面でジレンマを感じているのか知ることができ、参考になりました。

参加者からは「みなさんが一人一人に寄り添った支援、言葉だけではなく、その裏側も汲み取ろうとする姿勢、思いに感動しました。自分をもう一度見つめ直す良い機会になりました」、「その方の自己決定のプロセスをともに経験しながら、離れることなく、支援を続けることの大切さを痛感しました」、「毎回、学びが多くありがたい機会です。仲間の存在を感じられる機会でもあります。ぜひ継続して下さい」などの感想を頂きました。

今後もこのような顔の見える交流会を大切にし、さらなる連携の強化と医療体制の構築に尽力してまいります。



作業療法士の事例報告





グループワーク（意見交換）

登録医のご紹介

くすのきクリニック



住　　所：〒920－0811
石川県金沢市小坂町中16番6
Ｔ Ｅ Ｌ ：076－214－8368
診療科名：内科、外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 17:00	●	●	●	●	●	－	－

休診日・・・土曜、日曜、祝祭日



俵　広樹　院長

医療法人社団樹心会くすのきクリニックは、通院が困難な高齢者や障がいのある方を対象とした訪問診療専門のクリニックです。住み慣れた自宅や施設で最期まで自分らしく安心して過ごせるよう、定期的な訪問に加え、24時間365日の緊急往診体制を整えています。地域の医療・介護機関と緊密に連携しながら患者様とご家族の不安に寄り添い、穏やかな暮らしを温かく支えます。些細なことでもお気軽にご相談ください。

ゆいクリニック

住　　所：〒921－8163
石川県金沢市横川7丁目50番1
87ビル横川701号
Ｔ Ｅ Ｌ ：076－272－5006
診療科名：内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 12:00	●	●	●	●	●	－	－
13:00 ～ 16:00	●	●	●	●	●	－	－

休診日・・・土曜、日曜、祝日、年末年始
主に訪問診療をしていますので、初診等を希望の方は電話問い合わせをお願いします。



石田　将路　院長

総合診療専門医が診療にあたるクリニックです。
内科だけではなく、多様な疾患に対応いたします。
通院が難しい方でも、24時間365日対応での在宅療養の支援をいたします。
緊急の往診で入院が必要と判断した場合は、希望の医療機関等への連絡を行い、受診手段についても一緒に考えます。救急車での搬送が必要であれば、119番への連絡も行えます。
癌や心不全などの終末期に最後の時間を自宅で過ごしたい方にも対応します。

◇病院理念

『 愛と希望と信頼の医療を職員協同で提供し、
地域に貢献する 』

済生かなざわ 第153号　令和8年秋号
発行元：石川県済生会金沢病院
〒 920-0353　金沢市赤土町二 13-6
TEL (076) 266-1060 (代表)
URL http://www.saiseikaikanazawa.jp/